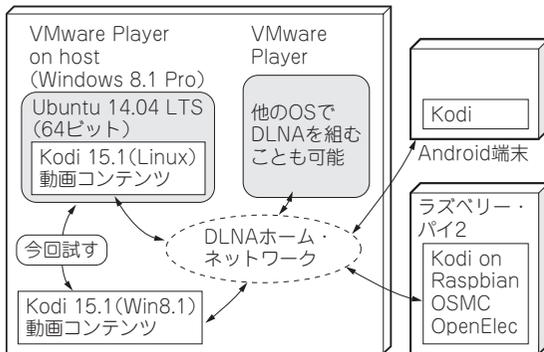


元祖DLNAホーム・ネットワーク IoT時代に注目! ×ラズパイ

第3回 オープンソース定番DLNA/UPnPソフトウェアKodi 平原 秀治



Windows 8.1 Pro(64ビット)マシン

図1 実験の構成…DLNAホーム・ネットワーク&対応ソフトウェアを使うと動画/音楽/写真を共有できる
DLNA対応ソフトウェアには今回Kodiを使用

Playerを使ってゲストOSのUbuntu 14.04 LTSを動かします。さらに、外部のネットワークにラズベリー・パイ2を接続し、DLNAのホーム・ネットワークを構成します。他のOSも動かしたければ、もう一つVMware Playerを動かして、OSを動かすことも可能です。

この場合、VMware Player上のOS間で直接通信ができなくなるため、VMware Playerのネットワークはブリッジを選びます。

ホストOSとゲストOSの二つのOS上に、Kodiをインストールして、UPnPにより動画を共有することでKodiの動作を確認します。現在のVMwareの性能はとても優秀で、PCの性能にもよりますが、このような環境の仮想マシン上のOSで、DLNA/UPnPの動画を再生することもできます。

オープンソースDLNAソフトウェア Kodiの特徴

今回は、DLNAに対応する機器が多く、現在でも活発に開発が進められているオープンソースDLNAソフトウェアKodi(旧XBMC)を紹介します。Kodiでは、音楽、動画、写真をUPnPプロトコルを使って共有することができます。Kodi(<http://kodi.tv/>)は、Mac OS X、Android、iOS、ラズベリー・パイ他、さまざまなハードウェア上で動くため、他のDLNAソフトウェアはほとんど必要ありません。

また、自分でソースから構築する必要もなくバイナリが用意されています。今回はWindowsとLinux上でのインストール方法と設定方法および使い方を紹介します。執筆(2016年5月)時点の最新版は、Kodi v16.1「Jarvis」です。Linux版で日本語にするには、Linuxも日本語表示できるようにしておく必要があります。

● 動作環境

図1のようにVMwareを使ってDLNAによるホーム・ネットワークを構築します。

ホストOSのWindows 8.1環境上に、VMware

パソコン用その1: Windows版Kodi

● インストール

Windows版は、この<http://kodi.tv/download/>から、kodi-15.1-Isengard.exeをダウンロードできます。

ダウンロード・ファイルをダブルクリックし、セットアップ画面から実行を開始します。途中、インストール機能の選択やインストールするディレクトリを選択しますが、デフォルトの設定で問題ありません。

● 設定

起動するとWindowsのMedia Centerのような画面が全画面表示されます。最低限必要な設定項目として、全画面とWindow画面の切り替え方法、画面の日本語化の手順を示しておきます。

▶設定1: フルスクリーン/ウィンドウ画面切り替え

起動画面の「SYSTEM」から「Settings」をクリックすると、Kodiの各種設定画面(図2)が開きます。ここでは左ペインの一番下にある「System」をクリックします。図3に示す画面で「Video output」を選択すると、「Display Mode」が出てくるので、必要に応じて